

## 緑の魅力で広がる趣味の世界

市民講座「エバーグリーンセミナー」

南九州大学都城キャンパスで11月14日、市民講座「エバーグリーンセミナー」が開催されました。3年目の今回は、45人の受講者が綾町に江戸時代から伝わるという女の子の誕生を祝うための「ひな山」づくりに挑戦。受講者たちはコケや木切れなどで山や川を表現しようと、工夫を凝らしながら箱庭の制作に取り組みました。初めて参加した入佐紀夫さん（祝吉町）は「植物を育てる趣味はなかったが、今日教わったことを参考にしたい」と意気込んでいました。



## 楽しんで！ 家族一緒にエコ生活

都城市環境まつり

暮らしの中で環境問題やごみのリサイクルに関心を持つてもらおうと都城市環境まつりが11月21日、下水流町のリサイクルプラザで開催されました。4回目の今年は、県内外から約5,000人が来場。ソーラーパネルの展示会や電気自動車の試乗が行われたほか、家庭で不要になった家具などのリサイクル品の抽選販売も行われ、来場者は家庭でできるエコ活動を体験しました。竹之下梨杏さん（梅北小3年）は「環境に優しい生活をこれからもしていきます」と話していました。



## 目指せ 茶(チャ)ンピオン！

T-1グランプリ

お茶の知識や入れ方を競うT-1グランプリが11月23日、南九州大学都城キャンパスで開かれました。小学生30人がチャンピオンを目指し、お茶の〇×クイズや種類当て競技に挑戦。急須を使ったお茶の入れ方競技では、茶葉の計量や立ち振る舞いなどに真剣に取り組んでいました。また、昔ながらの手もみ茶の実演なども行われ、訪れた人たちはお茶尽くしのイベントを楽しみました。お茶が大好きな徳永万琳さん（山之口小5年）は「お茶で頭がよくなるといいな」と効能に期待を寄せていました。



## まちなかを彩る恒例の行事

クリスマスイルミネーション

ウエルネス交流プラザの9万球のクリスマスイルミネーションが11月28日から12月25日まで、点灯されました。今年は「永遠に」をテーマに、教会の外観を模した電飾と手作りステンドグラスで幻想的な雰囲気 연출。初日に行われた点灯式では、ゴスペルコンサートやファッションショーが行われ、夜の中心街を行き交う人たちの目を惹きました。村中遥さん（三股西小4年）は「毎回違ったイルミネーションなので、この季節が来るのが楽しみです」と満足げな表情を浮かべていました。





## 外は寒空 車中はあったか

ドライブインシアターinかかし村

ドライブインシアターinかかし村が12月5日、山田第2運動場で開かれました。周りを気にせず、車中から映画鑑賞ができるとあって、家族連れやカップルに人気のこの企画。7回目となる今年には、250台、約800人があったかな車中から、人気邦画「バラッド」「アマルファイ」の2作品を迫力ある大スクリーンで楽しめました。家族5人で鑑賞した平山美里さん（山田中1年）は「家族で毎年、来ています。車の中からゆつくり映画を楽しみました」と満足そうに話していました。



## 日ごろの練習の成果を発表

生きがいふれあいフェスタ「山之口」

生きがいふれあいフェスタ「山之口」が12月13日、山之口勤労福祉センターとその周辺で行われました。生涯学習の発表の場として始まったこのイベントも、今年で14回目。今回も詩吟などの自主教室の成果が披露されたほか、野だてなど体験コーナーも設けられ、終日多くの人出でにぎわいました。麓小学校人形サークルで人形浄瑠璃を発表した原口大勢くん（麓小6年）は「初めて人前で人形を操りました。緊張したけど、うまくできました」と日ごろの練習の成果が出せたことに喜んでいました。



## 地元産の新そばの味と香りを堪能

庄内新そばまつり

古くからのそばの産地庄内地区で12月13日、庄内新そばまつりが開かれました。会場の関之尾緑の村では80人がそば打ちを体験。収穫したばかりのそば粉を使って、慣れない手つきでそば粉をこねたり、棒で薄く伸ばしたりしてそば打ちを楽しみました。また、田舎そばやかけそばの販売も行われ、訪れた人たちは旬の味覚を味わっていました。初めてそば打ち体験に参加した久永聰子さん（梅北町）は「転作で作ったそば粉で年越しそばを打つのが楽しみ」と笑顔で話していました。



## 福祉の世界をもっと身近に

ふれあいのつどい・げんきげんき芸術祭

障害福祉について広く市民に伝えてもらおうと「ふれあいのつどい・げんきげんき芸術祭」が12月20日、ウエルネス交流プラザで開催されました。会場を訪れた人たちは、障がい者が制作した絵画や書道など230点の芸術作品を鑑賞したり、点訳や音訳などの体験をしたりして、福祉への理解を深めていきました。友達と一緒に点字の名刺づくりを体験した田之上彩美さん（梅北小4年）は「今日の体験で、福祉の世界に興味がわいてきた。もっと、福祉について学んでみたい」と話していました。



# 人の風景



レクリエーションを通して

元気と笑顔を届けたい

文部科学省生涯スポーツ功労者表彰を受けた

にのみや けいこ  
二宮 莖子さん

**文**部科学省が地域のスポーツ振興に貢献した個人などに贈る「生涯スポーツ功労者」に、二宮莖子さん（山田町中霧島、57歳）が本年度選ばれました。表彰され「私がおらつていいものかと少しとまどいましたが、これを機にもっときめ細かに一人一人に対して接していきたい」と気持ちを引き締めていました。

レクリエーションは、「Re（再び）creat（つくる）の文

字通り、遊ぶことで元気を回復させてくれるもの」と話す二宮さんのレクリエーションとの出会いは、30年前。結婚したばかりの頃、当時、引つ込み思案の性格を何とかしようと考え、講習会に誘われ気軽に参加したことがきっかけでした。

始めてみるとレクリエーションを通して心身が健康になるだけでなく、仲間づくりにもつながるところに魅力を感じ、次第にのめり込んでいき、日本レク

リエーション協会の公認指導者資格まで取得しました。

昨年4月からは県レクリエーション協会事務局長に就任し、レクリエーションの楽しさを伝えるインストラクターの育成にも力を注ぐ二宮さん。

昨年10月に開催されたスポーツみやざき2009では、130人のボランティアスタッフの養成や、木花運動公園で開催され1万人の参加者が楽しんだニユースポーツ体験広場の裏

方を務めるなど、大会成功を支えました。

「主催する側も、まず自分が楽しむことが大事。自分が楽しめない、その楽しさが伝わらないし、伝えられない」と話す二宮さん。

「元気と笑顔でこんにちは」をモットーに、今後は「レクリエーションの輪を学校へ広げ、お互いに感謝し、思いやり、尊重し、他人を認める心を伝えていきたい」と話していました。

# 都城讃歌



【商店街での

アートプロジェクト】

倉山 裕昭さん

都城で生まれ育ち、美術家を  
目指して上京。現在は、大学の  
講師をしながら美術作品の制作  
に携わっています。

これまではずっと個人で美術  
作品を制作していましたが、最  
近は違うこともしてみたくな  
り、今年開催された芸術祭神戸  
ビエンナーレの三宮・元町商店  
街を舞台としたアートプロジェ  
クトに参加して「商店街」を対  
象としたイベントを企画しまし  
た。65歳以上を対象とした絵画

倉山 裕昭 (くらやま ひろあき)

プロフィール

昭和46年生まれ。美術家。映像やインス  
タレーション作品を制作。都城市立美術  
館などの企画展に参加。現在京都嵯峨芸  
術大学にて講師を務める。

公募展「シルバー絵画コンク  
ール」、声と手拍子のみの演奏で  
商店街を行進するマーチングパ  
ンド「オケペラ」などのイベン  
トを行いました。商店街の人た  
ちにはイベントの準備、管理な  
ど多方面でお世話になりました。  
アートプロジェクトとは何  
か、ということが美術界で話題  
になっていますが、この企画も  
それを実践して考えてみたいと  
いう動機から始めています。終  
わってみて感じたのは、学生た  
ちを含め協力してくれた人たち  
が、忙しい時期にも関わらずそ  
の合間を縫って楽しんで参加し  
てくれた、ということ。 「日  
常プラスα」を社会に提示する  
ことが美術の一つの存在価値だ  
とすれば、これらのイベントは  
普段の生活以外の違った時間を  
過ごすことで新しい経験を得る  
機会だといえるかもしれません。



縄瀬小学校

高崎町縄瀬1-4-11 ☎62-13771



## 学校へ行こう

「みんな元気 縄瀬っ子」

6年 谷本 望さん

縄瀬小学校は、自然豊かな緑  
あふれる学校です。創立100  
年以上の歴史があり、春夏秋冬  
それぞれの美しい風景が見られ  
ます。全校児童は58人で、昼休  
みは学年を問わず誰とでもみん  
な仲良く遊び、笑顔あふれる毎  
日を過ごしています。

縄瀬小学校には、全校で取り  
組む行事がたくさんあります。  
田植え、稲刈り、収穫祭、夏休  
みの体験活動などです。これら  
の行事や活動には、みんな協力  
して取り組んでいます。

6年生になると、朝のボラン  
ティア活動を行います。このボ  
ランティア活動は、4年生や5  
年生にも広がってきていて、学  
校の伝統にもなりつつありま  
す。

また、縄瀬小学校には、県内

でも数少ない交通少年団があり  
ます。今年は、宮崎県交通安全  
子供自転車大会で優勝し、全国  
大会へも出場しました。全国大  
会には、過去にも出場経験があ  
り、このことは学校の自慢でも  
あり、誇りでもあります。

私たちは、学校目標の「考え  
る子・優しい子・たくましい子」  
を目指して毎日頑張っています。  
これからも、縄瀬小のすばらし  
い伝統を受け継ぎ、人に自慢で  
きるようなことをどんどん増や  
していきたいです。



◎学校のシンボル

「いこいの森」

学校の敷地内にある小さな森  
で、季節が変わるごとにさま  
ざまな表情を見せてくれる、  
みんなに人気の場所です。